

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	栃木県	事業実施主体	宇都宮市	地域再生計画名	宇都宮市清らかな水環境再生計画
計画期間	平成29年度～令和3年度	評価責任者	宇都宮市上下水道事業管理者		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	宇都宮に愛着がある人の割合の向上	63.7%	H27	75.0%	R1	78.6%	75.0%	R3	78.9%	○	2	1	持続可能な汚水処理体制の構築などの着実な取り組みにより、基準年度から向上し、最終目標を達成した。
	指標2	宇都宮市人口ビジョン予測人口の減少数緩和	517,760人	H27	518,460人	R1	517,865人	518,460人	R3	517,100人	△	2	1	良好な住環境の確保など様々な対策を講じているものの、少子超高齢化の影響により現状では目標を若干下回った。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1													
指標2														
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
特別措置を適用して行う事業	公共下水道（整備延長）		6,389m	1,662m	7,384m	土地区画整理事業地内においては、事業の面整備に合わせて効率的に下水道整備を進めることができ、未整備となっている地域においては、川俣町周辺の整備を重点的に進めたところ、地域の協力が得られ、計画した整備量以上の実績を確保することができた。（進捗率116%）								
	公共下水道（受入施設）		1箇所	0箇所	1箇所	令和2年12月に整備が完了し、令和3年1月に供用開始。（進捗率100%）								
	個人設置型浄化槽		1,441基	742基	1,052基	新型コロナウイルス感染症の影響などによる建材費の高騰などに伴い、新築住宅の着工件数、並びに既存住宅における単独浄化槽や汲み取り便槽からの転換件数が想定より伸び悩んだ。（進捗率73%）								
その他の事業	汚水処理事業における普及啓発等の推進		公共下水道の接続促進、合併処理浄化槽の普及啓発のため、普及啓発活動やPR活動を実施		浄化槽事業について、市広報紙や未処理世帯への効果的な周知などにより、補助制度の周知や、水質保全の重要性について普及啓発に係る取組を進めたが、新型コロナウイルス感染症の影響などによる建材費の高騰などに伴い、新築住宅の着工件数、並びに既存住宅における単独浄化槽や汲み取り便槽からの転換件数が、想定より伸び悩んだため、引き続き取り組みを進めていきたい。									
	下水道普及率（汚水）の向上		下水道整備を行い、普及率の向上により、良好な生活環境の創造や、公共用水域の水質保全を図る		公共用水域の更なる水質改善に向け、土地区画整理事業や道路事業と情報共有を図り、効率的に下水道整備を推進している。									
	定住の促進		人口の定着や、移住の促進を図るため、若年夫婦等への家賃補助や、UJIターン起業促進の補助を実施		移住・定住の後押しとなるよう、「宇都宮市移住支援金」、「宇都宮市UJIターン起業促進補助金」、「ようこそ宇都宮へフレッシュマン・若年夫婦・子育て世帯等家賃補助金」などの支援事業を実施し、本市への移住・定住に一定の成果があった。（移住相談件数 平成29年度：66件→令和3年度：166件）									
	都市のブランド化の推進		情報発信・発信視点の活用促進や、シティセールスの強化、市民参加型事業を推進		官民連携組織である「宇都宮ブランド推進協議会」を中心として、本市の魅力や住みよさを市内外に発信するなど、都市の価値やイメージを高めるブランド戦略を推進したことにより、本市に愛着がある人の割合の向上につながった。									
計画外で独自に実施した事業														
④評価方法	「宇都宮市上下水道事業懇話会」の有識者委員に付議し、最終目標値の実現状況等に関する評価・検討等を行った。													
⑤事後評価の公表方法	宇都宮市上下水道局のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	公共下水道と浄化槽の整備による持続可能な汚水処理体制の構築が公共用水域の水質を保ち、自然環境が守られるとともに、都市のブランド化の推進などその他事業の取り組みにより指標1の「宇都宮に愛着のある人の割合」の向上につながったと考えられる。指標2の「宇都宮市人口ビジョン予測人口」では、下水道整備を行い、下水道普及率が向上し、良好な住環境の確保と定住の促進などその他事業の効果により人口の流出入では抑制が図れたものの、少子超高齢化の影響により、現状では目標を若干下回る結果となる。													
⑦今後の方針等	公共下水道事業について、計画以上の整備を行い、未整備の地域を縮小することができたため、今後は、従来から活用している社会資本整備総合交付金を利用し、計画的・効率的に整備を行っていく。浄化槽事業について、循環型社会形成推進交付金を活用しながら、市広報紙や未処理世帯への効果的な周知を図ることや、水質保全の重要性について普及啓発に係る取組を進めることで、引き続き合併処理浄化槽の整備を推進していく。													